

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価報告書

平成 28 年度事業分

平成 29 年 7 月作成

伯耆町教育委員会

## 目次

○はじめに .....	1
○教育委員会の活動状況 .....	2
○点検と評価の方法 .....	6
○伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート .....	9

## ■はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第26条第1項に規定されており、これに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

## ○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るものです。

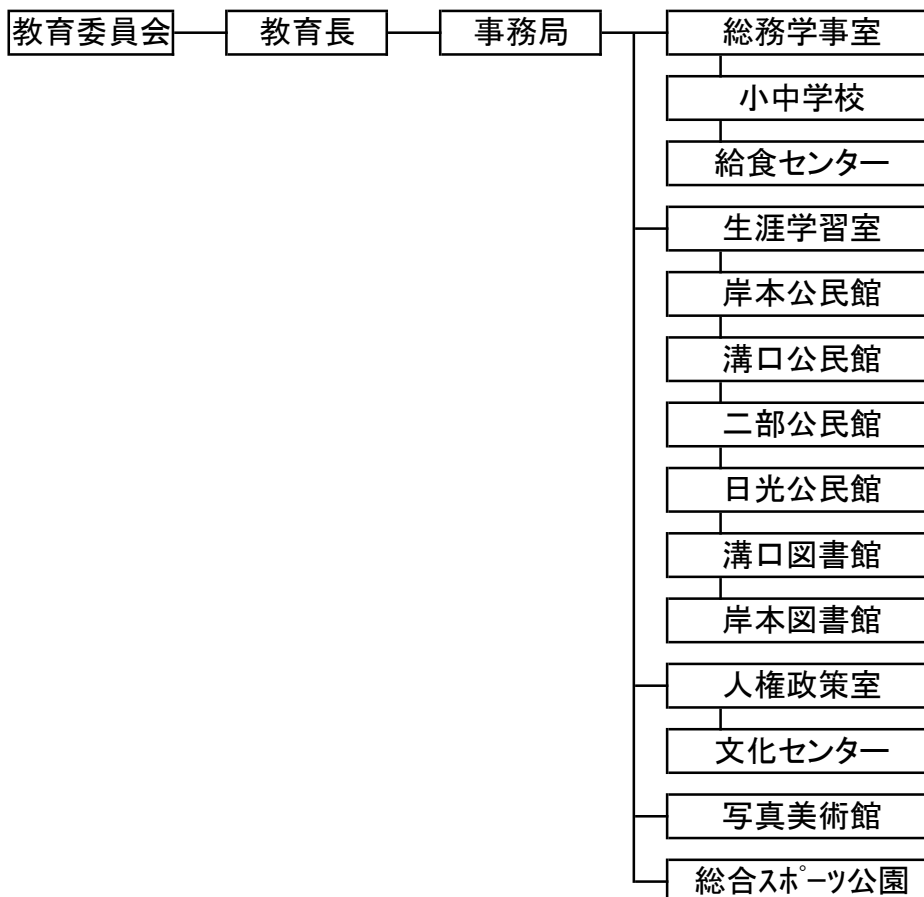
## ○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が平成 28 年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

## ○伯耆町教育委員会委員名簿(平成29年4月1日現在)

教育長	後 藤 弥
教育長職務代理	仲 倉 玄 雄
委 員	田 中 榮美子
委 員	大 木 寿 之
委 員	松 岡 和 代

## ○教育委員会の組織図



## ■教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会の開催状況

開催日	会議別	案件区分	案件名
4月 8日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	平成28年4月1日付け伯耆町教育委員会事務局職員の人事異動及び非常勤特別職員の任命の専決処理について
		議事	社会教育委員の委嘱について
		議事	学校運営協議会を設置する学校の指定について
		議事	学校運営協議会委員の任命について
		その他	事務連絡
5月 6日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	岸本地域小学校統合の進め方住民検討会の会議報告について
		議事	伯耆町スポーツ推進審議会委員の任命について
		議事	公民館運営審議会委員の委嘱について
		議事	学校校務分掌主任等の任命について
		議事	学校運営協議会委員の任命について
		議事	学校評議員の委嘱について
		議事	学校関係者評価委員の委嘱について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	事務連絡
6月 3日	定例会	報告	日光公民館事業進捗状況
		報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	平成28年度教育委員会関係補正予算の原案について
		その他	学校計画訪問について
		その他	伯耆町立学校における学力向上推進計画について
		その他	事務連絡
7月 11日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	6月定例議会等提出案件の結果について
		報告	西部地区総体結果について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	事務連絡
8月 25日	定例会	報告	教育長報告

		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	特別支援教育奨励費の支給の認定について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	校区外就学について
		協議	平成28年度教育委員会関係補正予算(第2号)の原案について
		協議	平成28年度9月定例町議会の教育委員会関係提出資料について
		協議	平成27年度教育委員会関係予算の決算の原案について
		協議	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について
		その他	事務連絡
9月29日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	9月定例議会提出案件等の結果について
		報告	全国等中学校総体の結果について
		報告	平成28年度全国学力・学習状況調査結果について
		議事	校区外就学について
		協議	社会教育委員からの提言について
		協議	総合教育会議について
		その他	事務連絡
10月26日	定例会	報告	伯耆町文化センター事業進捗状況
		報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	伯耆町教育文化会館規則を廃止する規則について
		議事	校区外就学について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	伯耆町子どもの読書活動推進計画(案)について
		その他	事務連絡
11月30日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	区域外就学について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	平成28年度教育委員会関係補正予算(第3号)の原案について
		協議	平成28年度12月定例町議会の教育委員会関係提出資料について
		その他	事務連絡
12月26日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	12月定例町議会の教育委員会関係提出案件等の結果について
		報告	西部就学支援委員会審査結果について

		議事	伯耆町立写真美術館規則の一部改正について
		議事	区域外就学等について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	平成29年度伯耆町教育に関する要望書について(PTA協議会)
		その他	平成29年度当初予算編成に係る要望について(校長会)
		その他	事務連絡
1月27日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	伯耆町保小中一貫カリキュラムについて
		報告	家庭教育ハンドブックについて
		議事	平成29年度1月1日付け伯耆町教育委員会事務局職員の人事異動の専決処理について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	事務連絡
2月22日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	伯耆町青年の家規則を廃止する規則について
		協議	伯耆町青年の家条例を廃止する条例について
		協議	人権擁護委員候補者の推薦について
		協議	平成28年度教育委員会関係補正予算(第5号)の原案について
		協議	平成29年度教育委員会関係当初予算の原案について
		協議	平成28年度3月定例町議会の教育委員会関係提出資料について
		協議	子どもの貧困の現状と対策について
		その他	平成28年度伯耆町教育委員会表彰について
		その他	平成28年度小中学校卒業式と平成29年度小中学校入学式について
		その他	事務連絡
		3月14日	臨時会
その他	3月定例町議会一般質問について		
その他	事務連絡		
3月24日	定例会	議事	社会教育委員の委嘱について
		議事	公民館運営審議会委員の委嘱について
		議事	図書館協議会委員の任命について
		議事	文化財保護審議会委員の任命について
		議事	スポーツ推進委員の委嘱について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	学校薬剤師の委嘱及び変更について
		議事	鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置について

	議事	学校運営協議会を設置する学校の指定について
	議事	学校運営協議会委員の任命について
	協議	平成29年度伯耆町学校教育基本方針について
	協議	平成29年度社会教育計画について
	その他	平成29年度伯耆町教育に関する要望書の回答について
	その他	各種委員会等への当て職の取り扱いについて
	その他	事務連絡

開催回数		13
案件数	報告件数	34
	議案件数	39
	協議件数	18
	その他件数	22
	合計	113

## 2. 教育委員会関係会議・事業等

### (1) 教育委員研修会・会議

- 市町村教育委員会研究協議会
- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会・研修会
- 西部町村教育広域連携事業推進研修会

### (2) 学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 運動会・体育祭 全小中学校
- 学習発表会・文化祭 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 溝口小学校開校式
- 教職員着任式・離任式

### (3) その他

- 総合教育会議(1回)

## 平成 28 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

### □点検と評価の方法

平成 28 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、小中学校PTA会長、スポーツ審議会委員、学校支援地域本部地域教育協議会委員及び教育委員に意見等を求めた。

### □点検・評価対象事業

伯耆町教育振興基本計画の事業展開方針に基づき、28年度に取り組んだ事業を対象とする。

#### 1. 学校教育関係事業基本方針「社会の一員として自立して生きてゆく児童生徒の育成」

##### (1) 学校・家庭・地域の連携

###### ①教育の原点である家庭教育力の向上

- ・家庭と学校の連携強化
- ・家庭学習の手引の活用推進及び利活用方法の周知徹底
- ・生涯学習事業や子育て対策事業との連携 など

###### ②地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組みづくり

- ・学校支援地域本部事業
- ・コミュニティ・スクール推進事業
- ・スクールガードリーダー事業
- ・青少年育成伯耆町民会議との連携 など

##### (2) 保・小・中の滑らかな接続

###### ①一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の改善

- ・幼保小接続推進事業
- ・小中学校教員・児童生徒の交流
- ・中学校教員の小学校への派遣
- ・定期的情報交換会の実施 など

##### (3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

###### ①確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- ・学力向上施策の推進
- ・人権・道徳、食育、体験学習、郷土学習など人間力育成教育の推進
- ・スポーツの啓発
- ・ALTの配置
- ・学力調査の実施 など

###### ②発達段階に応じた、きめ細やかな指導体制の充実

- ・特別支援学級及び就学支援体制充実
- ・学校運営の改善支援
- ・学習支援員の配置
- ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー配置 など

##### (4) 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備

###### ①教員の資質向上と一人一人の子供に教員が向き合うための環境整備



- ・教職員研修の充実
  - ・専門家の活用などによる小中学校への的確な指導助言の実施
  - ・少人数学級の継続
  - ・学習支援員の配置
  - ・学校図書館職員の配置 など
- ②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備
- ・学校施設整備
  - ・学校配置方針の決定
  - ・学校事務共同処理 など

## 2. 社会教育関係事業基本方針 「学び続けるための基盤づくり」

### (1) 生涯を通じて学ぶための環境の整備

#### ①生涯学習の推進

- ・社会教育施設の改修・修繕と空公共施設の有効活用
- ・公民館を核とした住民活動の支援と関係課との連携
- ・生涯学習情報の積極的な発信
- ・公民館活動のさらなる充実と参加者の増
- ・地域指導者の発掘
- ・図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・成人団体の育成 など

#### ②生涯スポーツの推進

- ・関係課と連携した健康事業の推進
- ・スポーツ関係団体の育成及び活動支援
- ・体育施設の維持修繕及び利用促進
- ・各種スポーツ大会の実施 など

### (2) 町全体で取り組む青少年の健全育成

#### ①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備

- ・青少年育成伯耆町民会議、こども会育成連絡協議会等関係団体の活動支援
- ・PTA協議会等との連携強化と活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進
- ・地域指導者の発掘 など

#### ②家庭教育の充実

- ・「共育」環境づくり
- ・放課後子ども教室の設置
- ・スクールガードリーダーの配置
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催 など

### (3) 人権尊重のまちづくりの推進

#### ①人権教育・人権啓発の推進

- ・明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・人権教育・啓発推進協議会の活動支援
- ・相談業務の拡充
- ・個別計画に基づく事業の推進 など

### (4) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造

#### ①文化財の保存と活用

- ・文化財調査及び文化財保護
- ・文化財教室等の開催

- ・郷土学習の支援
- ・情報発信、周知活動の充実 など
- ②地域芸術文化の振興
  - ・伝統行事や地域文化活動の開催等支援
  - ・文化施設の維持修繕及び利用促進
  - ・芸術文化活動の発表の場づくり
  - ・芸術文化団体・人材の活動支援と活動の周知 など

## 2. 評価方法

### (1) 評価記号の説明

評価記号	説明
◎	・新規に企画された事業で目標が達成された事業
○	・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業
△	・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業
▲	・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかった事業
●	・実施しなかった事業又は目標がほとんど達成されなかった事業

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

### (2) 評価基準

「(1) 評価記号」の説明	達成値
「目標が達成された」	90%以上
「目標がほぼ達成された」	70%以上 90%未満
「目標達成が不十分」	50%以上 70%未満
「目標がほとんど達成されなかった」	30%以上 50%未満
「実施しなかった」	30%未満

### (3) 目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分がなかったかどうか

## 平成 28 年度事業 伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(1) 学校・家庭・地域の連携	① 教育の原点である家庭教育力の向上	1	伯耆町教育振興会事業・地域教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所・学校・社会教育施設の連携の必要性について研修を行い、写真美術館での現地研修を行った。</li> <li>・地域の祭・行事について、各施設における調査活動を行った。</li> <li>・学校支援活動成果報告交流会で、コミュニティ・スクールの推進に向けた学校支援について研修を行った。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		2	家庭学習の手引き配布事業	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について、解説した「家庭学習の手引き」を小学校新入学生に配布する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭学習の手引き」を配布し、各学年で家庭学習のあり方について保護者への啓発を行った。</li> <li>・「家庭教育ハンドブック」の活用について周知を図る。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② 地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組みづくり	3	学校運営協議会運営事業	総務学事	学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入し、保護者・地域・学校が一体となって、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会未設置の学校も、設置に向けての準備が進められた。保小中の代表者でのネットワーク会議が実施でき、めざす子どもの姿について協議することができた。</li> <li>・HK30に向けて、全小中学校をコミュニティ・スクールと指定し、中学校区での連携を深める。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		4	学校支援地域本部事業	生涯学習	地域住民が教育に関心を持ち、学校の教育活動に関わることで、子供たちに多様な体験と交流の機会を提供し、確かな学力と人間力を向上させる。大人にとっても、新しい仲間づくり、生きがいづくりなど、地域の絆づくりに繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①支援実績 学習支援 285件 環境整備 38件 学校行事 41件</li> <li>②会議 地域教育協議会 1回 実行委員会 4回 コーディネーター定例会 9回</li> <li>③研修 7月15日 地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2月 6日 学校支援ボランティア研修会(基礎編) 2月14日 学校支援ボランティア研修会(応用編) 3月4、5日 人づくり・地域づくりセミナーin山口</li> <li>④学校支援活動成果報告・交流会(2月4日)</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ボランティアの開拓、コミュニティ・スクールとの連携</li> </ul>		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		5	子供の体験活動事業	岸本 公民館	夏休みを中心に、学校、地域と連携し、子どもたちを対象に自然体験、創作活動等多様な学習機会を提供することができた。事業の企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。	<p>・学校、地域、公民館教室等の連携をもとに、自然体験、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図った。・夏休み公民館教室協力事業は、14回の開催で延べ109名の参加があった。・夏休み岸本公民館主催事業では、星の観察会、巣箱作り、お弁当クッキング、県の施設見学など、6回の開催で延べ122名の参加があった。・土曜日のお楽しみでは、5回の開催で延べ96名の参加があった。</p> <p>・お弁当クッキング、県の施設見学は、好評なので継続したい。</p> <p>・平日の午後の開催を検討したい。</p> <p>・土曜日のお楽しみ事業は、開催回数を増やしたい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				溝口 公民館		<p>・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持った子どもの育成を図った。高齢者教室の学園生や公民館各教室・同好会、また地域の方々に協力していただき、世代間交流の推進を一層促進した。夏季休業中に9(前年9)事業、冬季休業中に3(前年2)事業、中学生ボランティアの協力を呼びかけ、土曜事業として親子料理教室(アンケート実施)を4事業開催し、延べ236名(前年255名)の親子・子供たちが有意義なひと時を過ごした。</p> <p>・事業により参加者の増減があった。子どもたちの興味関心を喚起する工夫も大切にしながら、是非子ども達に体験してもらいたい日本の伝統的文化など(お茶・生け花・書道・料理等)は継続発展させて取り組んでいきたい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
				二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・地域・公民館教室の連携をもとに、自然体験、ものづく活動などの体験をとおして、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。</li> <li>また、森のようちえんの子供たち・保護者及び二部地域で活動している団体(つくしの会、二部梁山泊、だんだんプロジェクトなど)と協力しながら事業を開催し、大いに交流を図ることができた。</li> <li>引き続き地域の多様な組織と連携し、交流・学習の機会を提供していきたい。</li> <li>実施回数: 14回 延べ参加人員: 553人</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
			日光 公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初夏の絵を描こう親子で4人、夏の思い出に絵を描こう小中学生30人の参加、星の観察会親子4人、それぞれに楽しく有意義な事業を行うことができた。</li> <li>・小学校統合後溝口小学校1、2年生44人が、冬見つけ体験として日光農村広場でソリ、積雪をスコップで掘り起し温泉作りを行う等、地域の人にお手伝いしていただき、交流が深まりとても有意義な体験ができた。</li> </ul>		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		6	子供の体験活動事業	総務学事	各学校で独自の取組みを行っているほか、学校支援地域本部事業と連携し、地域の協力を得ながら、体験活動を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な活動</li> <li>○作物・米・花の栽培 ○職場体験 ○遠足、大山登山の協力 ○スキー教室など</li> <li>・地域の方と連携して、学習や体験活動等の支援を行う。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		7	家庭教育支援事業	生涯学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、小学校の新入学保護者等を対象にした講演会、研修会を支援(八郷小、岸本小、二部保、あさひ保)</li> <li>・家庭教育講座(3回)の開催 参加者137名</li> <li>・今後も保育所・小中学校、家庭教育支援チームとの連携を図り、親育ちの観点で取組を推進する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(2) 保・小・中の 滑らかな接続	① 一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の改善	8	伯耆町教育振興事業 ・保小中一貫教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区を単位とした授業研究会への相互参加、小中合同研究会、情報交換会を開催し、児童・生徒の実態をもとにした共通の取組をすることができた。</li> <li>・ネットワーク会議での協議によって策定された、中学校区の目指す子どもの「姿」の実現のため、具体的な取組が必要。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		9	伯耆町教育振興会事業 ・一貫カリキュラム作成プロジェクトチーム	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトチームのメンバーを核として、町内教職員の参画により、一貫カリキュラム「詳細版」と伯耆1学習の共通単元計画を作成し、一貫カリキュラムを完成することができた。</li> <li>・一貫カリキュラムの効果的な活用について指導する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		10	伯耆町教育振興会事業 ・就学支援	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「合理的配慮」について、保・小・中の職員が合同で研修する機会をもつことができた。</li> <li>・保・小・中の幼児・児童・生徒が交流する機会を積極的に検討し、実施することができた。</li> <li>・職員の合同研修を一層充実させていく必要がある。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(3) 知・徳・体の バランスのとれた教育の 推進	① 確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育	11	小中一貫学力・人間力定着促進事業	総務学事	町教育の振興を図るため、教員の教師力向上や学校運営開発等の研修を行う。また、各学校の授業改革のための研修と夏期学力補充教室、家庭教育講演会等を行い、児童生徒の学力定着と保護者への家庭教育の大切さに関する意識づけを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招聘し、校内授業研究会が充実するとともに、校種をこえて他校の研究会に参加する教職員が増えてきた。</li> <li>・夏季学力補充教室では、公民館と連携するなど、取組の工夫が見られた。</li> <li>・研究主題が一部の教科での取組に限定されることなく、他教科にも広げる必要がある。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		12	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	総務学事	各学校における教材・教具・備品の整備を行うことで、多様化する教育に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校に児童生徒数に応じた予算配当を行い、必要な教材・教具・備品を整備した。</li> <li>・引き続き、必要な教材・備品等を整備し、多様化する教育に対応していく。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		13	外国青年招致事業	総務学事	岸本中学校と溝口中学校にALTを1名づつ配置し、生徒の英語能力の向上に資する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各中学校にALTを配置して英語活動を支援するとともに、中学校区の小学校にも定期的に派遣し、国際理解教育を支援。また、公民館の英会話教室で講師を行う、広報誌にALT通信を載せる等、地域における国際理解の啓発に寄与した。</li> <li>引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		14	学校統合準備事業	総務学事	町内児童・生徒の少子化の進行に対し、学級の人数等について適正な規模が維持できるように、各小学校区の代表者と協議をして、統合の方向を明らかにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>岸本地区の学校統合について、住民検討会の協議により、当面の方向性を出すことができた。</li> <li>学校統合について、保護者や住民の声を傾聴する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		15	運動部活動推進事業	総務学事	地域の専門的指導者を部活動指導に派遣し、部活動の活発化、生徒の技能向上、地域との連携の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動部活動推進事業(県事業)を活用し、溝口中学校で剣道部、柔道部の外部指導者派遣を行い、専門的指導等を実施した。</li> <li>引き続き、部活動の活性化、生徒の技能向上のため部活動指導者の派遣を実施する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		16	特別非常勤講師配置事業	総務学事	地域の専門的知識を有する者を県教委に内申し、特別非常勤講師として配置してもらい総合的な学習の一部やクラブ活動を担当させることで、学校教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>岸本小4名、八郷小2名、二部小4名、溝口小3名の推薦を受けて配置した。各自の技能を活かし、授業の充実が見られた。</li> <li>県教委の予算制限により、希望時数が全て満たされたわけではなかった。学習支援ボランティアの活用も検討すべきである。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		17	伯耆町教育振興会事業 ・人権教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権教育主任会を中心とした研究大会の運営が定着した。ふたば保育所、岸本中学校の取組を全職員で共有することができた。</li> <li>地区学習会のあり方、運営について検討が必要。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		18	青雲寮管理運営事業	生涯学習	溝口中学校生徒の冬期間の寮として使用していた青雲寮を、町内社会体育団体の合宿や通学合宿に利用するとともに、適切な施設の維持管理及び運用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内スポーツ団体及びPTAの合宿、通学合宿事業の場として活用した。</li> <li>・室内のブラインドなどの建具の補修を行い、利用者の要望に応じた。</li> <li>・調理設備、トイレなど使い勝手の悪いものもあるが、利用頻度等を考慮しながら施設整備について検討する必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		19	伯耆町教育振興会事業 ・学校保健	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内統一の保健調査票を作成することができた。また、食育の推進と生活習慣改善の取組を行った。</li> <li>・全ての家庭に、生活習慣の重要性を周知するとともに、食事マナーの定着を図る必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		20	栄養教諭による食指導	給食センター	栄養教諭1名、要望による加配職員1名の計2名で栄養指導を行い、学校給食を通じて食育の推進を図った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養バランスのとれた給食を食べることにより、食事の楽しさ、食事の基礎知識の学習など、児童生徒が食事の大切さを学んだ。児童生徒に地元食材を食べてもらうことで、食育の推進を図った。また、各学校と連携を図り、生産者やセンター職員と児童との交流給食を実施し、生産者との交流、食材に対する感謝の気持ちが育まれた。食育の日や給食週間を中心に交流給食を年9回実施。</li> <li>・H29年度からの調理等業務の民間委託により、食材の検収を調理委託事業者が行うなど、仕事に若干余裕が出てくると思われるので、食育の推進に力を入れていく。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		21	学校給食施設管理運営事業	給食センター	安心・安全な学校給食を提供するため、給食センターの適切な管理を行った。また、老朽化・損傷した備品について、更新を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種細菌等検査の実施</li> <li>・清掃・衛生の徹底 など</li> <li>・給食用コンテナなど老朽備品の更新</li> <li>・年間給食配数 179,284食</li> <li>・平成29年度から調理業務等の民間委託が始まり、衛生面等について管理が徹底されていく。</li> <li>・食物アレルギーに係る対応(事務処理方法等)について、各学校の意見を聞きながら改善していく。</li> <li>・平成29年度は、30年度の施設改修に向け、調査設計を行う。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上



計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		22	学校給食費補助事業	給食センター	給食費の保護者負担を軽減するため、1食につき50円の補助を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者負担の軽減と安定的な給食の供給が図られた。補助額7,541,850円</li> <li>・平成29年度には、1食当り50円から100円に増額し、一層の保護者負担の軽減を図っていく。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		23	食材供給連絡協議会との連携	給食センター	伯耆町内の農業生産者で構成する組織である食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の食材使用に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会との調整会議を月1回開催</li> <li>・伯耆町産使用率【鳥取県調査対象の44品目(野菜だけでなく、魚介類等も対象)のみの割合】37.5%(前年度34.1%)</li> <li>・町内産のみで賅えた主な食材 米、干し椎茸、かぶ、メロン、わらび等</li> <li>・町内産食材の使用率の一層の向上</li> <li>・協議会会員の高齢化等に伴い、会員数が徐々に減少。町内生産者の拡大を図ることが必要(H28は3名が新規加入)。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② 発達段階に応じた、きめ細やかな指導体制の充実	24	スクールソーシャルワーカー活用事業	総務学事	いじめや不登校など児童生徒の問題行動を環境面から解決するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係者・関係機関が協力して、児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士資格者2名と教員OB1名をSSWとして配置。学校・関係機関と連携・情報共有し、問題を抱える児童生徒の支援を行った。</li> <li>・対象事案 小学生49名、中学生42名</li> <li>・ケース会議 教職員:11回、関係機関含む:31回</li> <li>・SSWを中心に関係機関との連携を密にし、課題を抱える児童生徒の対応にあたる。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		25	特別支援教育支援員配置事業	総務学事	特別支援学級に在籍する児童生徒の内、日常的に介護等が必要な児童生徒と通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の児童生徒に対する学習支援、安全確保等を行うことで担任と児童生徒が安心して授業に取り組める環境を整備し、教育効果を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岸本小4名、八郷小2名、溝口小3名、岸本中2名、溝口中1名の学習支援員を配置し、個別の学習支援を行った。また、2学期から中国からの帰国子女に対して、溝口中に1名の日本語支援員を配置して、適応に努めた。</li> <li>・年々、学習支援員の確保に苦慮しており、空白期間が生じることが増えている。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業				評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要		主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		26	教育支援センター運営事業	総務学事	溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行った。また、いじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通級生徒 中学生6名(内さくらんぼ2名)、小学生1名</li> <li>・学習指導員1名, 相談員3名配置</li> <li>・定例会を開催し情報共有を図った。</li> <li>・該当生徒中学校、保護者との連携を図った。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		27	少人数学級実施事業	総務学事	小中全学年30人学級の実施によりきめ細やかな教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岸本小 6学年:1学級⇒2学級 定員1名増</li> <li>・岸本中 1学年:2学級⇒3学級、2学年:2学級⇒3学級、3学年:2学級⇒3学級 定員5名増</li> <li>・溝口中 1学年:1学級⇒2学級 定員1名増</li> <li>・上記により、学習指導、生徒指導の両面で教育効果をあげている。特に中学校においては、進路実現に大きな影響を与えている。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		28	就学援助事業(要保護、準要保護)	総務学事	生活保護、生活保護に準ずる者、非課税・母子家庭等を対象とし、金銭的に生活が苦しい保護者に対し教育費(学用品、給食費)を援助することで、保護者の教育を受けさせる義務の遂行を図る。	<p>平成28年度認定:92名(53世帯)          ※昨年に引き続き、母子家庭が半数以上を占める(30/53)。          ※区域外就学者の申請は、町外からの越境1世帯1名。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、金銭的に生活が苦しい保護者に対し、教育費(学用品、給食費)を援助する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		29	就学援助事業(特別支援教育就学奨励金)	総務学事	特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。	<p>平成28年度認定:17名(16世帯)          ※世帯の収入・世帯員によりⅠ～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。          ※支給額は、要保護・準要保護の2分の1程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援し、金銭的負担を軽減する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		30	中学校区の児童生徒を語る会	総務学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	<p>○中学校区児童生徒を語る会 小中学校担当教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、指導主事等が参加</p> <p>・岸本中学校区 各学期2回 ・溝口中学校区 各学期1回</p> <p>・小中の連携を深め、いじめ問題と不登校の未然防止や対応について情報交換をする。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		31	就学支援検討会	総務学事	小中学校就学について、支援が必要と考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不適應などの2次障害を防止する。	<p>①5歳児健診での観察及び相談 ②関係機関による連絡会議の実施 ③対象児の観察会 ④個別の就学支援検討会の実施 ※31件の事案について対応・支援</p> <p>・「個別の支援計画」の活用充実を図り、保護者に寄り添った就学支援を行う。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(4) 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備	①教員の資質向上と一人一人の子供に教員が向き合うための環境の整備	32	学校評価研修会	総務学事	学校運営の一層の充実・改善を図るため、学校管理職等の教職員、学校関係者評価委員、学校運営協議会委員を対象に研修を実施する。	<p>・学校評価研修会 7月 兵庫教育大学 浅野良一 教授</p> <p>・教職員、学校関係者評価委員、学校運営協議会委員等が集まり、PDCAサイクルによる学校活性化について研修を行い、各学校の取組に資することができた。</p> <p>・学校評価システムを評価者全員が理解して、適切な評価を行う必要がある。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		33	学校図書整備及び図書館司書配置	総務学事	各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、学校図書館を利用した学習の充実や子供たちの読書活動推進に寄与する。	<p>・学校司書として臨時的任用職員を配置し、学校図書館運営・管理、児童の調べ学習支援などを行った。</p> <p>・司書教諭、学校司書と公共図書館との連携を図り、図書資料の充実を図る。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		34	教職員研修会 (全教職員対象)	総務学事	学校教育の諸課題に対応できるよう教職員の資質向上を図るため、本町独自の研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悉皆研修:町教振研究大会 7月 島根大学 宮崎紀雅 准教授</li> <li>・希望研修:小中一貫授業力向上研修会 2月 府中市教育委員会事務局 長谷川奈保美 主査</li> <li>・上記の研修により、児童・生徒の認知特性とそれへの対応の理解が進み、一部の教職員ではあるが、小中一貫した国語科の授業づくりのイメージを持つことができた。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間1回でも悉皆研修を堅持していく必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		35	学校要請訪問、学校随時訪問	総務学事	各学校の校内授業研究会での指導助言や授業参観・授業評価及び学校長への指導助言を目的として学校訪問を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内授業研究会、小中合同研究会に可能な限り参加し、研究推進の進捗を見取るとともに、教職員への指導助言を行うことができた。また、管理職との協議の中で、各学校の研究推進への助言を行うことができた。</li> <li>・指導主事2名で、全ての学校の校内研究会に参加することは困難であるので、重点的に参加する必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		36	伯耆町教育振興会事業 ・生徒指導	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導主任・主事を中心として、長期休業中の生活の決まりを見直すとともに、情報交換を行った。加えて、不登校傾向児童へのチーム対応について事例検討会演習を行った。</li> <li>・不登校の未然防止について町内で共通対応を行なう必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		37	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	総務学事	各学校の運営状況及び授業実践の把握を行うため、各種訪問を行い、各校の課題改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校計画訪問 各小中学校1回</li> <li>・行事訪問(各行事参観, 各式典参列)</li> <li>・講師訪問、本務者訪問 各学校1回</li> <li>・上記の訪問による各学校教育の見取りをまとめて、還元することができた。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員による学校教育の見取りの結果を、今後とも学校に還元し、促進と改善を促していく。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
② 安全安心で 質の高い教育を支える教育環境の整備		38	小学校施設修繕事業	総務学事	小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<p>・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。</p> <p>【主な施設修繕】 岸本小：一輪車練習台修繕 二部小：ジャングルジム設置、プールバルブ交換、鉄棒支柱取替 溝口小：防火シャッター電池交換</p> <p>・引き続き、損傷・老朽化した施設の修繕を行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		39	中学校施設修繕事業	総務学事	中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<p>・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。</p> <p>【主な施設修繕】 溝口中プールろ過装置タッチパネル修繕 岸本中：親時計交換、体育館照明修繕</p> <p>・引き続き、損傷・老朽化した施設の修繕を行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		40	小学校施設耐震化等事業	総務学事	二部小学校、八郷小学校の校舎等改修工事の実施設計を行う。	<p>・二部小の校舎耐震補強、空調設備改修工事完了 ・八郷小の空調設備改修工事完了</p>	◎	新規事業目標達成90%以上
		41	学校安全体制整備推進事業	総務学事	小学校において、実践的な事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためにスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	<p>・中学校区ごとにスクールガード・リーダーを配置。定期的に学校・通学路等の巡回・指導等を行った。交通安全プログラムに基づき通学路の合同点検を実施し、安全体制整備の向上を図った。</p> <p>・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		42	伯耆町教育振興会事業・学校事務	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<p>・業務改善、情報の見える化、コミュニティ・スクール理解という3点を重点として、全町的な取組を行った。</p> <p>・平成30年度の全学校コミュニティ・スクール化に向けて、事務職員の参画について検討する。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(1) 生涯を通じて 学ぶための 環境の整備	① 生涯学習の 推進	43	地区公民館との連携	公民館	地区公民館との連携を強化するため、公民館定例会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習室と各公民館で定例会を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、業務の連携を図った。(毎月1回各公民館持ち回りで開催)</li> <li>・円滑な業務連携を行うことができた。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換により、有効な事業を他の公民館が実施するなど、良好な連携が図れており、継続して実施することが必要</li> </ul>			
		44	生涯学習まちづくり推進事業	公民館	生涯学習に関する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談</li> <li>・ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月)</li> <li>・伯耆町HPで生涯学習に関する催し物、情報提供</li> <li>・生涯学習ニュースがわかりにくいという指摘を住民からいただいたため、表示方法について検討を行い、公民館事業と同好会事業を見分けやすくすることができた。</li> <li>・四館の公民館同好会(教室)募集チラシをまとめて、区長便で全戸配布した。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後とも住民のご意見に耳を傾けながら、より伝わる広報活動に心掛ける必要がある。</li> </ul>					
		45	図書館管理事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館関係部門の連携を強化するため、図書定例会(図書館長と図書館職員、生涯学習室職員、二部・日光公民館長、文化センター職員が参加)を開催する。</li> <li>・町民の図書館への声や意見を集約し、町民に役立つ図書館運営をするために、図書館条例第4条等の改正を経て、図書館協議会を立ち上げた。委員6名を、町内の各地区、幅広い年代の代表として選出、委嘱(教育委員会)し、スタートした。(視察研修を含めて年4回開催)また、利用者アンケートを実施し、町民の図書館への期待を集約した。職員で検討し、図書館運営や図書館づくりに生かしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館連絡会でシステムの更新や地震対応、雨漏り被害など危機管理上の問題や事業の現状と課題を協議し、館運営に役立った。長年の願いが叶い、岸本図書館にシステムが1台追加され、貸出・登録・予約対応の円滑化が向上し、窓口の混雑を解消できた。利用も大幅な伸びを示した。図書館協議会では、各地区代表の委員さんから、図書館のあり方や図書の提示や展示の方法について、利用者目線で具体的な提案をいただき、改善に努めることができた。「いつも変わる、おもしろく変わる図書館づくり」とサービスの向上を意識していく必要がある。</li> <li>・具体的には中・高校生のための棚移動とリニューアルに取組み、新たに「青春の君へ」コーナーを設置した。また、バリアフリーコーナーの充実を図り、障がい者サービスに努めたが、十分とはいえない。今後、障がいのある方の情報を収集して、使いやすさや不足している点を検証していく必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		46	図書館振興事業	図書館	<p>利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、親しみやすく、かつ開放的な施設として、また町づくり、人づくりに役立つ施設として、新規事業を加えながら、各年代への読書推進に努める。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。</p>	<p>(1)子育て支援事業            ・ブックスタート事業(年12回) ・ブックセカンド事業 ・図書館にこにこおはなし会、乳幼児出前お話し会・就学前児童お話し会、保育施設への本の配送            (2)学校支援事業            ・団体貸出し及び本の配送 ・土曜事業(リサイクル工作教室)            ・お話し会・朝読書読み聞かせ ・職場体験受入れ            (3)読書推進事業            ・こどもの読書週間事業 ・読書グランプリ            (4)高齢者支援事業            ・出前図書館(年5回)            ・あたまイキイキ音読教室(年20回)            (5)広報事業            ・図書つうしんの発行 ・HP掲載            (6)研修事業            ・鳥取県図書館大会への協力、発表            ・西部地区図書館視察 ・総合的学習と図書館活用について</p> <p>【溝口図書館】            ・布絵本ちくちく教室の開催(20回) ・島田洋子原画展及びクリスマス豆絵本教室            ・大江賢次、池田亀鑑、ふるさとの作家展</p> <p>【岸本図書館】            ・開館5周年記念展示            ・おはなしのもりスペシャル</p> <p>・図書館らしい事業づくりとは、本づくり、おはなし会、音読教室など図書館資料を活用した事業であると考えて、取り組んでいる。そのような取り組みによって、図書館資料に対する理解を深めていただき、気軽に図書館を活用していただくような習慣づくりにつながることをねらっている。布絵本ちくちく教室も少しずつではあるが、本として完成し、ボランティアの協力を得て、幼児・児童・生徒や障がいのある方にやさしい本として使用していただいている。地道な歩みであっても継続することにより、図書館の特徴として息づいて、図書館の利用も進んでいくと考える。職員の協力と利用者のおかげで様々なことにチャレンジできている。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		47	鬼の館運営事業	生涯学習	本町の文化拠点として、文化に直接触れる機会の提供、各種団体の研修や町内サークル等の発表の場として文化団体の支援・利用促進及び施設の維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保守点検を行い、空調機器に一部不具合を発見したため修繕を行った。</li> <li>・利用者から要望のあった、女子トイレ5基の洋式化を行った。</li> <li>・展示機能(ピクチャーレール等)を追加し、新たな利用法に対応した。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		48	青年の家管理事業	生涯学習	青年の家を維持・管理及び壁紙の張り替え等を行い、社会教育の場として提供することにより、社会教育の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館同好会、放課後児童クラブの活動の場を提供した。</li> <li>・老朽化に伴い、施設を廃止して解体(H29年度)することになった。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		49	社会教育主事等の育成	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、経験を積むことができた。</li> <li>・実務経験をつむことで、社会教育主事の発令が可能となる。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		50	高齢者教室交流事業	公民館	各公民館の高齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を行なうと共に、相互の親睦と交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伯耆町内の4つの公民館合同の研修会を開催し、講演会、発表会、交流会を開催することができた。 開催日 7月8日(金)10:00~15:00 会場 鬼の館 参加者数 167人</li> <li>・4つの公民館の高齢者教室学級制の機構による文集「だいせん」を作成・配布した。 作成部数 320部</li> <li>・参加される高齢者の年齢が上昇しており、発表会への出演団体が減っているため、内容の工夫が必要。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上





計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
				二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多々楽学園(高齢者教室) 町内外研修 計15回開催 延べ288名参加。高齢者の学びの場を提供し、生きがいや健康づくりを図ることができた。</li> <li>・女性学級 12回 延べ128名参加。成人女性を対象とした講座等を開催し生涯学習の場を提供し、会員相互の親睦を図ることができた。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				日光 公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども体験活動事業への参加を含め、小学生等との世代をこえた交流機会を引き続き図る。</li> <li>・多々楽学園生・女性学級生が減少傾向にあり、住民のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していきたい。</li> </ul>		
		52	社会教育委員	生涯 学習	<p>社会教育並びに図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、社会教育施策等について、事業計画・事業実施結果等の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会として、政策提言を行った。</li> <li>・社会教育委員会の開催 2回</li> <li>・意見交換会の開催 8回</li> <li>・現地視察 2回</li> </ul> <p>前年度の反省に基づき、政策提言を行うための行動をとることができた。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		53	図書館協議会 委員	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、事業計画・事業の実施結果の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業及び図書館運営について協議を重ね、図書館体系の構築とこれに基づくサービスの振興に役立った。具体的には高齢者や若者世代に特化した棚のリニューアル、テーマ展示のあり方を見直し、改善した。</li> <li>・アンケートや年報の統計から見える問題点を整理し、アイデアを実践した結果、団体貸出の大幅な伸びに繋がっている。</li> <li>・開館、閉館時間のあり方など課題の焦点化が行われたが、公民館との一体化について困難な点が多く、解決に至っていない。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
② 生涯スポーツの推進		54	スポーツ推進審議会事業	総合スポーツ公園	教育委員会のスポーツに関する諮問及び町のスポーツ推進に関する事項について研究協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度における計画の進捗状況報告及び次年度に向けての計画実施(案)について協議するため、審議会を2回開催した。</li> <li>計画の進行管理及び次期計画策定に向けたアンケート調査</li> <li>施策実施に向けての検討及び関係団体との連携強化</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		55	スポーツ推進委員事業	総合スポーツ公園	委員を委嘱し、町内のスポーツ振興・普及を図る ・町内体育行事の運営、協力 ・生涯スポーツの指導、普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>郡、県、中国研修会等に参加し指導委員としてのスキルアップが図られた。(年4回)</li> <li>町の体育行事等運営協力のほか、「ほうきスマイリースポーツクラブ」事業の企画・運営を行った。</li> <li>夏休中に小学生が集落で行うラジオ体操の指導を行った。(番原)</li> <li>研修で学んだ内容を実践できる企画の検討</li> <li>スポーツ推進委員の認知度アップ対策</li> <li>夏休中に児童が行う早朝のラジオ体操に出向いて指導する。(地区を増やす)</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		56	スマイリースポーツクラブ支援	総合スポーツ公園	スポーツを通じて地域住民の健康増進・技術体力の向上を目的とする総合型スポーツクラブであるスマイリースポーツクラブの運営に必要な経費について補助金を交付し、活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブの独自事業及び受託事業として各種教室8事業、大会等5事業及び町内保育園やPTAなどへの指導者派遣を50回以上実施し、住民の体力向上やレクリエーションの普及に寄与した。また、ジュニアクラブとの連携により、多くの子どもたちに専門競技以外のスポーツ等を実施する機会を提供することができた。</li> <li>クラブ運営はH28年4月に法人化した。(一般社団法人)</li> <li>会員増加に向けての企画立案。</li> <li>町民への認知度を向上させるための広報活動。</li> <li>指導者の確保及び指導者研修の充実</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		57	オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆補助事業	総合スポーツ公園	全国の小学生を対象にトライアスロン競技を開催するための事業費の一部を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年8月21日に22回大会として開催 大会エントリー者数は296名で昨年より11名増であった。大きな事故やトラブルはなかったが、バイクコースにてブレーキの操作ミスによる転倒があった。</li> <li>参加者増に向けての取り組み強化。(年々増加している。)</li> <li>事故が起きないように十分な運営体制を構築する。</li> <li>トライアスロン教室を毎年開催しており、未経験者を中心にバイク操作等の指導を行っている。事故防止のため、継続して実施する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		58	伯耆町駅伝	総合スポーツ公園	旧溝口町から実施されている1チーム5名による駅伝競走大会である。地元の絶大な協力をいただきながら、役員や参加者が一体となって運営されている地域に密着した大会として開催。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定どおり開催し、日光地区の協力による汁の振る舞いも好評だった。</li> <li>・開催場所の変更に向けた検討。</li> <li>・日光地区の風物詩的行事であり、日光地区の合意を要するため、慎重な検討を要する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		59	町内体育施設管理運営事業	総合スポーツ公園	町内の社会体育施設である体育館・武道館・町民グラウンド・総合スポーツ公園・すこやか村や溝口中学校夜間グラウンド施設等の管理運営を行った。また、管理運営に必要な備品・機材を整備した。	<p>各施設利用者数(前年比較)中学校部活利用は除く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育施設(町体育館・町武道館・町グラウンド、すこやか村) 32,085人(782人増)</li> <li>・総合スポーツ公園 31,790人(482人増)</li> </ul> <p>社会体育施設は若干増加(溝口多目的グラウンドの管理がH28年度から追加、岸本体育館改修工事期間中は閉鎖)、スポーツ公園施設は昨年に比べ利用者数が若干増加(海洋センター改修工事期間中は閉鎖)した。</p> <p>(機材購入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AED購入(耐用年数7年で更新)</li> <li>岸本体育館・溝口体育館・岸本武道館・溝口武道館</li> <li>海洋センターの5施設</li> </ul> <p>・施設管理機材保守点検</p> <p>・利用者に対する利用時間の厳守・利用後の施設清掃等の徹底。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		60	伯耆町体育協会補助事業	総合スポーツ公園	所属各部の運営、町スポーツ大会の開催等、スポーツ活動の中心的団体の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門部運営補助(8団体)</li> <li>・町民対象のスポーツ大会開催(8事業)</li> <li>・スポーツ優秀賞・功労賞の表彰</li> <li>・郡体、県民スポレク等の大会参加</li> </ul> <p>各大会とも大きな事故もなく予定通りに開催することができた。町民スポーツ活動の中心組織として、年間を通してスポーツ活動、大会運営に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民スポレク等各種競技大会へ参加</li> <li>・体協組織や運営方法についての検討協議を行い、平成28年度末をもって町体育協会は解散して「ほうきスマイリースポーツクラブ」に統合した。</li> </ul> <p>「ほうきスマイリースポーツクラブ」への統合済。円滑な運営に留意する。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		61	体育施設改修事業	総合スポーツ公園	快適な環境で運動できるよう体育施設の修繕等を行う。	<p><b>(主な施設修繕)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岸本体育館・武道館消防設備修繕</li> <li>溝口武道館照明器具修繕</li> <li>溝口中学校グランド照明器具修繕</li> <li>すこやか村水道施設修繕</li> <li>すこやか村ゲートボール場屋根修繕</li> <li>溝口多目的グランド部分張芝</li> <li>溝口多目的グランド照明施設修繕</li> <li>ちびっ子広場休憩所ベンチ修繕</li> <li>ちびっ子広場遊具修繕(新設以外の旧遊具)</li> <li>野球場汚水ポンプ修繕</li> <li>野球場電気設備修繕</li> </ul> <p><b>(施設備品購入)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岸本体育館体育器具等(更新)</li> <li>海洋センター体育器具等(更新)</li> </ul> <p><b>(業務委託)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芝生等更新作業委託</li> <li>溝口体育館大規模改修工事設計業務委託</li> </ul> <p><b>(改修工事)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岸本体育館大規模改修工事</li> <li>岸本B&amp;G海洋センター改修工事</li> <li>公園遊具設置工事(旧遊具解体撤去)</li> </ul> <p>・公園遊具の老朽化に対応するため、2基ある遊具のうち、1基をH28年度に更新した。(利用者が急増した。)</p> <p>・溝口体育館大規模改修工事設計業務に基づいて、平成29年度に改修工事を行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		62	各種スポーツ団体補助事業	総合スポーツ公園	伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆町グラウンドゴルフ協会活動経費の一部を補助する。 ※町大会運営や郡、県大会等さまざまな大会に参加されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供することができた。</li> </ul> <p>・今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供できるよう、継続的サポートが必要。補助対象経費の算定基準において、団体別に差異が生じているので基準の統一化を図る。(H29年度から統一化を図る。)</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		63	地区運動会・ その他イベント 開催事業	岸本 公民館	<p>町民総スポーツの中心的な事業として運動会を開催し、子どもから高齢者までの参加により地域の連帯感、親睦を深めた。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。</p>	<p>・町民運動会岸本地区大会 10月2日に開催 岸本地区町民のスポーツの中心的事業として開催し、健康増進と親睦、地域の連帯感を深める交流活動に寄与できた。中学生ボランティアの申込みが13名あった。一般ボランティアの参加が5名あった。水入れ競争の内容を変更し、競技時間の短縮が図られた。前日準備作業が各集落の割り当てとなり、13集落が参加し、スムーズに実施できた。</p> <p>・アンケートにより、競技役員から出された課題を検討する。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				溝口 公民館		<p>・町民運動会溝口地区大会 10月16日実施。溝口地区の町民のスポーツの中心的事業として開催し、健康増進と親睦、地域の連帯感を深める交流活動に寄与できた。実行委員会を組織し、中学生ボランティアの協力を呼びかけた。前年度の課題を実行委員会にて協議し、第2日曜日から第3日曜日開催とし、課題解消・競技内容等の改善に努めた。</p> <p>・今後も協議の見直しを進めていくとともに、子どもから高齢者までみんなが楽しめ、親睦が図れる運動会にしていける必要がある。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				二部 公民館		<p>・町民運動会二部地区大会 10月2日実施 二部地区の町民のスポーツの中心的事業として開催し、競技内容も工夫し、健康増進と親睦、地域の連帯感を深める活動に寄与することができた。特に平成28年度からは、地域の意向を踏まえ、半日開催とし、終了後の地域での交流が若い世代から高齢者まで参加され非常に好評であった。</p> <p>・二部地区のスポーツ・健康事業として、二部地区活性化推進機構主催による健康ウォーキング・グランドゴルフ大会、カローリング大会を開催し、健康増進・交流に寄与することができた。</p> <p>・平成28年度に実施した内容が非常に好評であったため、継続して実施したい。</p> <p>・二部地区活性化推進機構と連携し、継続して健康事業を実施したい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・伯耆町駅伝:天気にも恵まれ日光女性会が作った豚汁が大変おいしいと感謝された。、参加賞の日光リンゴも喜ばれた。</li> <li>・町民運動会日光地区大会 10月16日実施。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
2-(2) 町全体で取り組む青少年の健全育成	①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備	64	青少年育成伯耆町民会議運営支援	生涯学習	地域全体で青少年の健全育成の推進を図ることを目的に、町民会議を支援し各種事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会(2回)の開催</li> <li>・青少年育成伯耆町民大会の開催(1月29日、参加者84人)</li> <li>・研修会開催</li> <li>・町民あいさつ運動の実施(4回)</li> <li>・高校生マナーアップさわやか運動への参加(2回)</li> <li>・夏休み町内巡視の実施(6回)</li> <li>・少年を守る店啓発事業(42店舗)</li> <li>・コンビニ成人雑誌陳列状況調査</li> <li>・車用ステッカーの配布(26枚)</li> <li>・「家庭の日」標語の募集(応募数173点)</li> <li>・家庭教育講演会、研修会の開催</li> <li>・通学合宿(10月、5年生参加者13人)</li> <li>・高校生ユースセミナーでのボランティア、交流事業等</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		65	成人式	生涯学習	明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、成人を祝福し激励する記念式典を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>と き:8月15日/新成人出席者105人 出席率71.9%</li> <li>と ころ:鬼の館</li> <li>・記念品贈呈・記念講演・記念撮影</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の課題を受け、HPや防災無線での呼びかけ改善を行い、対象者漏れを防げた。</li> <li>・他県からIターンしてこられた方を講師に招き、伯耆町の魅力を再発見できるような講演及び講師選定を行えた。</li> </ul>		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		66	通学合宿事業	生涯学習	「青雲寮」で子ども達が共同生活を行いながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努める。	と き:10月2日(日)～8日(土) と ころ:青雲寮 対象学年:5年生 参加者数:13人  ・通学合宿対象者を5年生としているが、異年齢との交流がなく事業効果が薄れるため、4～5年生にするなど参加対象の拡大を検討する必要がある。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		67	高校生ユースセミナー	生涯学習	高校生が自ら事業を企画することで自主性、責任感を育て、他校の高校生と交流し、仲間づくり行い、地域で一緒に活躍する高校生の育成を図る。	町内の各種イベントへのボランティア参加や高校生同士の交流会を開催した。 ・岸本豊年盆踊り花火大会 2人 ・青少年活動実践交流会 2人 ・岸本きないや祭 7人 ・第1回高校生交流会 7人 ・第2回高校生交流会 5人 ・溝口公民館まつり 6人  ・新規参加者の確保をする工夫が必要。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		68	読谷村教育交流	生涯学習	沖縄県読谷村と伯耆町の子どもとの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。	平成28年度実施なし  実施しない年に派遣準備(参加者)が出来ないか、検討を要する。	FALSE



計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(3) 人権尊重の まちづくりの 推進	① 人権教育・人 権啓発の推 進	69	人権教育推進 事業	人権 政策	人権教育推進を目的に、人権教育推進員を配置し、人権に関する諸問題を学び・理解していただくための各種事業を行う。	<p>人権問題の学習啓発事業の企画運営及び、各種学習会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわりセミナー(10回参加者415人)</li> <li>・人権教育プログラムの作成(社会教育編)</li> <li>・人権啓発標語募集事業の実施(応募数750点)</li> <li>・各種研修会・大会への派遣(4か所参加者8人)</li> </ul> <p>・アンケートでいただいた意見を反映させ、新たな人権課題へもアプローチが必要。</p>	○	継続事業目標 達成90%以上又 は新規事業ほ ぼ達成70%以上
		70	人権教育・啓 発推進協議会 補助金	人権 政策	伯耆町人権教育・啓発推進協議会の運営・活動を支援するとともに、各種事業を開催し、人権教育・啓発の推進を図る。	<p>(1)人権教育・啓発に関する調査研究及び実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種人権週間広報啓発活動</li> <li>・明るいまちづくり懇談会開催事業(42集落523人)</li> <li>・明るいまちづくり懇談会事前研修会(3公民館179人)</li> <li>・人権啓発標語の募集及び表彰(応募数750点)</li> </ul> <p>(2)研修会及び講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和問題実践研究交流会(参加者95人)</li> </ul> <p>(3)資料の刊行及び啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権カレンダーの作成・配布(町内全戸・企業)</li> <li>・伯耆町人権だよりの作成・配布(町内全戸)</li> </ul> <p>(4)関係機関団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究校の指定と授業研究会の開催</li> <li>・各種研修会・大会への派遣(8か所参加者49人)</li> <li>・各種団体の活動支援</li> </ul> <p>(5)その他目的達成に必要と認めた事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「呼ぶ会」実行委員会の活動支援</li> </ul> <p>事業実施後の反省会により、改善点を洗い出し、次年度事業に向けた取組みを行う。</p>	○	継続事業目標 達成90%以上又 は新規事業ほ ぼ達成70%以上
		71	男女共同参画 推進事業	人権 政策	家庭並びに社会生活における活動等への男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画推進計画を基に、各種事業を実施する。	<p>事務担当が、総務課となったが、ひまわりセミナーの中で啓発に努める。</p> <p>総務課と連携した事業の展開が必要となる。</p>	○	継続事業目標 達成90%以上又 は新規事業ほ ぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		72	町営住宅修繕事業	人権政策	老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、住環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急修繕及び部分修繕(9件)行うなど、町営住宅の適切な管理を行うとともに、住宅使用料の全額納付を推進した。</li> <li>・町営住宅の適切な管理を行うため速やかな修繕に努める。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		73	文化センター管理運営事業	文化センター	人権問題の解消と啓発に向けた事業の実施や地域住民の自立と、よりよい生活を図るため文化センターの核として活動に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区進出学習会：小学生 42回 119名参加 中学生 25回 42名参加</li> <li>・相談事業：随時。</li> <li>・各種教室・講座：4教室2講座 延べ61回 532名参加。</li> <li>・ミニデイサービス事業：ゲーム、レクリエーション、創作活動、会食などを取り入れ、楽しめる憩いの場として定着した。地域活動への参加につながり新しい仲間が増えた。延べ12回 233人参加。</li> <li>・百円ランチ：12回 213人。</li> <li>・交流研修事業：町内外からの研修を受け入れて地区の歴史・体験・活動などを伝え、人権意識の高揚や差別解消に努めた。研修会9回 参加者326人。</li> <li>・その他児童館事業、講演会、センターだよりの発行等を実施し、人権教育推進や地域活性化に努めた。</li> <li>・教室等参加者の減少がみられる事業の見直しを行い、幅広い年代層が参加できるような事業展開の検討が必要。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
2-(4) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造	①文化財の保存と活用	74	地域文化活動の支援	生涯学習	豊かでうるおいのある生活を創造するため、芸術文化の振興・育成を図り、町内芸術文化事業を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域文化活動の支援のため、伯耆町文化振興会の体制整備と、各種事業を実施した。</li> <li>・第12回伯耆町民音楽祭 8/28(日) 鬼の館 来場者300人</li> <li>・第12回伯耆町文化展 11月3日(木)～5日(土) 鬼の館 来場者380人</li> <li>・くろぼくコンサートの支援 自主運営団体の鬼の館ホワイエでのコンサートを支援した。</li> <li>・文化展を初めて鬼の館で行うなど、鬼の館を文化の拠点として利用することが出来た。</li> <li>・鬼の館を様々な用途で使用できることを住民へ周知する必要がある。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		75	埋蔵文化財調査事業	生涯学習	開発に伴って事前に発掘調査を行い、埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事業者との調整を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島城発掘調査(福島地区砂防堰堤建設工事に伴う文化財調査) H28.6.14～H29.3.30実施 調査面積 1,206㎡ 調査結果 平安時代末～鎌倉時代初の鉄関連炉跡、戦国時代の 福島城の遺構(炉、柵列等)を検出した。</li> <li>・平成27年度実施福島城試掘調査報告書作成 300部作成</li> <li>・福島城調査で検出した平安時代末～鎌倉時代初の鉄関連炉跡は、県内では9例目の発見で、貴重な地域史料の発見となった。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		76	文化活動団体支援事業	生涯学習	町内の芸術文化活動を行う団体への支援を行ない、文化活動の振興に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼面太鼓振興会・岸本風神太鼓振興会へ補助を行い、後継者育成、演奏技術の向上等活動を支援した。</li> <li>・町内文化活動団体の練習会場として、鬼の館を無償で貸し出した。</li> <li>・団体の安定的な運営方法について、助言を行った。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		77	文化財保護事業	生涯学習	本町にある指定文化財等の維持管理及び地域の景観的な変遷を記録するための定点撮影を行う。 国指定文化財 1件 県指定文化財 1件 町指定文化財 12件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県委嘱の文化財保護指導員による巡視</li> <li>・文化財周辺の草刈り・除草等の維持管理</li> <li>・矢田貝家の古文書等整理のプロジェクトを支援</li> <li>・中曽家の古文書等の調査</li> <li>・文化講演会 3/26(参加者28人)</li> <li>※埋蔵文化財の発掘調査において重要遺構の検出があったため、町内文化財展示、町内文化財整理等の事業が実施できなかった。</li> <li>・引き続き矢田貝家の古文書等整理のプロジェクトを支援しながら、様々な町内文化財を活用するための方向性を模索したい。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		78	文化振興会補助事業	生涯学習	町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援する。 会員数116人(平27年3月現在)	<p>各専門部会それぞれで活動を行える体制づくりをし、住民自ら各種事業を企画運営する体制を整えた。</p> <p>○総務部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化講演会(参加者80人)</li> <li>・視察研修(参加者18人)</li> <li>・会報12号発行(全戸配布)</li> </ul> <p>○美術部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化展(来場者380人)</li> </ul> <p>○音楽部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民音楽祭(来場者300人)</li> </ul> <p>○歴史文化部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大山寺山内の地藏さん巡り(参加者23人)</li> <li>・伯耆三十三札所巡り(参加者20人)</li> </ul> <hr/> <p>・文化展の際、ミニコンサートや各部会の事業報告を実施し、幅広い文化の醸成が図れた。</p> <p>・各部員が自発的に活動するような体制づくり、意識改革が必要。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		79	写真美術館管理運営事業	美術館	美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介や地域の写真芸術・文化の振興に寄与した。	<p>・写真家 植田正治及びその作品について来館団体への説明を積極的に行い、作品や写真芸術への理解を深めてもらう取り組みができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間説明団体 37団体 約1,000人</li> <li>・入館者は20,521人(過去5年間の平均入館者数 22,640人)</li> <li>・企画展3回、地元TV放送、その他雑誌掲載</li> <li>・南側駐車場壁面に掲示板を設置し入館者に対する誘導改善を行った。</li> </ul> <hr/> <p>・今後も美術館についての説明を積極的に行い、来館者の満足度を高めるような取り組みを行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
② 地域芸術文化の振興		80	写真芸術・文化振興事業	美術館	写真芸術・文化の振興に資することを目的に、フォトコンテスト、ワークショップ、作品説明、フォトスクールを開催した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財団の事業としてフォトコンテスト、ワークショップを行った。フォトスクールについても17講座 416名が参加した。町内小中学校に加えて、町内外の団体からの参加もあった。美術館職員の支援によりスムーズな運営となり、また、事業実施にあたって指導、助言を行った。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップとも参加者のニーズや運営の現状を把握するとともに、写真愛好者の底辺拡大のため宣伝活動を引き続き行っていく。</li> </ul>	
		81	地区文化祭・まつり開催事業	岸本公民館	公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岸本公民館きないや祭として11月19・20日に開催した。</li> <li>・今年度から、公民館の展示の多くを岸小体育館に移し、それによってできたスペースで、「発表会」と「体験コーナー」の開催ができた。（発表会は5団体、体験コーナーは5団体の参加があった。）</li> <li>・「ぜんざい」と「けんちん汁」の無料提供は好評だった。</li> <li>・岸小体育館の入場者数が前年度比47%増だった。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
溝口公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館で活動をしている教室・同好会に、発表会や体験コーナーの参加を呼びかける。</li> </ul>						
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・溝口公民館祭 3月19,20日開催 実行委員会を組織し、住民参画による運営に務めた。運営面で、中学生ボランティアの協力があり、大変助かった。例年作品展示中心のまつりであったが、同好会や各教室の高齢化により展示作品も少なくなってきたため、発表の場を設けた。出演サークルが一丸となって発表へ取り組み、頑張りを多くの方へ賞賛してもらえる場となったことは良かった。</li> <li>・本年度は作品の有無にかかわらず、全部の同好会に実行委員会に入ってもらった。会場設営、撤去に実行委員に声掛けをし、参加していただくことができた。</li> <li>・各種同好会や教室の減少傾向がある中、広く町民から作品を募集することにより、一層町民の公民館まつりという意識化を図り、公民館同好会が中心となり、地域を巻き込んで、自分たちのまつりという機運を高めていかないと、今後溝口公民館まつりの実施が難しくなっていくと危惧している。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
				二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第33回たたらまつりを2月25～27日開催 延べ707名来館。地区住民・公民館教室生の作品展示、農産物販売、特別展示「二部谷の昔の暮らし」等を行い、交流・親睦を図った。</li> <li>・開催にあたっては、地域住民の積極的な参画により、まさに「地域住民手づくり」にまつりができた。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日光ふるさとまつり 3月11日～12日開催 延べ400名</li> <li>・日光地区出身のサクソフォン。オカリナの演奏が評判がよかった。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						溝口小学校児童の絵画が、初めて展示されとてもよかった。		

○報告書個別事業に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長及びPTA会長、スポーツ審議委員、学校支援地域本部地域教育協議会委員に送付し、無記名で意見書を返送いただいたものを掲載しています。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
1	伯耆町教育振興会事業・地域教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小中一貫教育の継続的な取り組みをお願いします。</li> <li>・よい取組みに思うが、中学校区のスタンダードを見直して、家庭や地域にわかりやすいものにしていくことが必要だと感じた。具体的にそろった教育活動を展開していくことが大切。</li> <li>・28年度に実施された地域の祭・行事についての調査は有意義なものだと思う。そのデータは今後有効に活用してもらいたい。</li> <li>・保小中の連携を推進するための研究推進を進めていると思う。特にCS推進に向けた研修は、効果的だったと思う。</li> </ul>
2	家庭学習の手引き配布事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習、講演会等、保護者への啓発活動を継続して行っていただきたい。</li> <li>・9年間保管して見返す家庭がどれだけあるか。有意義な活用法を示唆するか、小学校と中学校の分冊にした方がよいのではないか。</li> <li>・毎年、教職員に配布すること、見直しのための検討会を部分的に計画的に更新していくことが必要。</li> <li>・小中学生の保護者にどれだけ認知されているのか。周知から一歩進んだ活用状況の把握と効果的な活用についての提案が必要では。</li> <li>・家庭学習の手引きをもとに児童に指導したり、保護者に対し啓発活動を行っている。今後も継続してほしい。</li> <li>・小学校から中学校まで学習する時間が明記されているが、なかなかその通り学習できている児童は少ないように感じる。</li> <li>・入学説明会で配布して協力を呼びかけることも大切。</li> <li>・「家庭学習の手引き」は、啓発推進のために小1、小4、中1の各段階で配布できないか。予算的に難しいかもしれないが、児童生徒・保護者・教員の意識付けのため。</li> <li>・カラーのしっかりとした冊子で、その学年の学習時間の目安や目標が示してあり参考となる。</li> </ul>
3	学校運営協議会運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の地域への周知が必要である。</li> <li>・地域・保護者・学校で子どもを育てていく考え方はよいと思う。</li> <li>・地域の理解と協力を得るためには、まだ時間がかかることが感じられました。学校教育活動にいかすための研究として、教職員にも企画を促すため発想を求めたいです。</li> <li>・学校運営協議会では、子ども達について日頃感じていることを、気安く出し合っていると感じます。地域の学校として、地域に根差した地域ぐるみの学校づくりを。</li> <li>・CS、学校運営協議会について、地域・保護者に「わかりやすく」周知することが、この事業を進める上で不可欠。</li> <li>・学校運営協議会の推進により、地域に根差した学校づくりがなされている。学校のために尽力いただいている。</li> <li>・「中学校区・・・」とした場合、中学校の校長が議長となる必要はない。中学校の校長は地域を知らない。</li> <li>・とてもよい取組みです。全学校で実施となれば、ますます結構なことと思います。</li> <li>・いかに子ども達の学校教育を改善してゆくか、熱い意見交換を行っている。時に保護者に対しても厳しいご意見をいただき、目からうろこ状態。</li> </ul>
4	学校支援地域本部事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援実績は十分あると思う。さらに地域との協働を進めるために、自治会等との連携や連絡を進めていく方向で検討できないか。</li> <li>・地域本部の存在や役割を、地域住民も理解していくことが必要だと感じています。</li> </ul>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
4	学校支援地域本部事業(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援地域本部事業をスムーズに運営したり、コミュニティ・スクールと連携していく鍵はコーディネーターにあると思う。優秀な人材を確保するために勤務の形態や待遇などについて教育委員会でも考えてほしい。</li> <li>・ボランティアの方は熱心に出られています。学校園(八郷小)が校舎から遠く、しかも広すぎでは。草が生え放題で管理が間に合わない感あり。</li> <li>・学校ボランティアは学校での教育にとってなくてはならない存在となっている。年々増えるニーズに対して、コーディネーターの負担が大きくなるが・・・。</li> <li>・子ども達の学習や学校行事に大きな支援をいただいている。ボランティアさんなしでは、なりたないものもあり、今後お願いしたい。</li> <li>・学校にたくさん地域ボランティアの方々が来てくださって、児童も顔をおぼえて交流が深まっている。</li> <li>・ボランティアの方も高齢になっておられる方もいるので、若い世代(50-60台)の参加が増えるとよいと思います。</li> <li>・多くの方がボランティアをしておられる。新規の方を増やすために、家におられる方への声掛けを続けていくことが大切。</li> <li>・地域の住民と子供たちとの交流を深めることは大切だと思う。おおいに続けてほしい。</li> <li>・学校支援が充実していると思います。</li> </ul>
5	子供の体験活動事業(公民館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公民館は、子ども達の行事に関わり、広く開放して若者世代が活発に活動している様子が分かります。</li> <li>・夏季休業日開始の時期は、水泳大会のための強化練習と重なってしまうので、時期と時間については、再検討していただけるとありがたいです。</li> <li>・夏休み等の子ども達の活動の受け皿としていつも大変助かっている。学校としても、もっと子ども達に地域の活動に積極的に参加できるようにすすめていきたいと思う。</li> <li>・参加する子どもが、いつも同じような顔ぶれになっているので、参加を学校でもっと進めていきたい。</li> <li>・保護者への案内を1つの冊子にしているのは大変良い。保護者・子ども達にも、よく見てもらえ事業に参加することができる。</li> <li>・夏休み体験、今年は参加者が多く、にぎやかに楽しく過ごせた(公民館)</li> <li>・各公民館で計画されるのは大変かもしれませんが、子どもは楽しんで参加しているように感じる。</li> <li>・地区公民館活動に子供はもちろん、住民の方も気軽に参加でき、コミュニケーションや交流を深める事業を続けてほしい。</li> <li>・事業の案内が一つの冊子でまとめてあり、分かりやすい。</li> <li>・各公民館が連携して、特色を出しながら取り組んでおられて、とてもよいと思います。</li> <li>・休み中(長期)の各種イベントを計画していただき感謝いっぱいです。</li> </ul>
6	子供の体験活動事業(学校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年冬の日光農村広場での雪遊びは大変良かった。普段あまり経験できないことを体験することは、これからにとって有意義なことだと思います。</li> <li>・せっかくのすばらしい自然環境をもっと有効に使えるとよい。特に榎水高原や日光地区は、児童も足を運ばせた方がよいと思った。歩くスキー体験などよいかと思います。</li> <li>・職場体験では、いつも地域の事業所の方々に世話になり大変感謝している。子ども達を育てる当事者として一緒に取組んでいただけたらありがたい。</li> <li>・内容について学校運営協議会と連携して、年々子ども達にとって、よりよいものになっていかなければならない。</li> <li>・地域の方、ボランティアさんの協力により、様々な体験活動を行うことができています。</li> <li>・中学生の職場体験は、1年目は全員で、2年目は希望者と、いろいろと体験できるチャンスがあるとよいのでは。</li> </ul>



NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
6	子供の体験活動事業(学校)(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校側で10数個のテーマを設定して、個人でも数人のグループでも、そのテーマに半年ぐらいかけて研究し、発表する取り組みも必要ではないか。解決の手順や思考の方法、たくさんの教材にまたがった考え方を習得できる。</li> <li>・全校生徒がとりくめるよう継続。</li> <li>・保育所の園外活動にも支援ボランティアの必要なケースが多々ある。より安心安全な活動となるよう、園から積極的に要望を出す必要がある。</li> <li>・ふるさと活動や放課後児童クラブ等で多くの方に指導していただき、活発な活動ができている。</li> </ul>
7	家庭教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育を中心に展開していくべきだと考えます。</li> <li>・先日「社会経済的背景」が子ども達の学力を規定する最も大きな要因であるという話を聞いた。データを使った話には説得力があったが、保護者にも聞いていただいていたのではどうだろうか。</li> <li>・各保小で課題は違うかもしれませんが、町として推進したいことを、共通に行うことも必要ではないか。</li> <li>・教育支援チームは何人おられるのかわかりませんが、研修や講座の開催を増やしてみたい。</li> </ul>
8	伯耆町教育振興会事業・保小中一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールスタンダードがすばらしいので毎年見直しと改訂を行い、教職員や保護者に知らせる取り組みは、今後も継続していくことが重要だと考えます。</li> <li>・ほとんどの子どもが、保小中と同じ環境で過ごす(学ぶ)以上、一貫教育はなされて当然、教職員交流も含めて今以上に進めてほしい。</li> <li>・保護者にもスクラム教育の理解が深まってきた。</li> <li>・今後の見通し、先の見据え方が関係者によって微妙に異なっている。</li> </ul>
9	伯耆町教育振興会事業・一貫カリキュラム作成プロジェクトチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伯耆I学習の共通単元は作成されたが、各学年の総合的な学習の時間として、学習指導要領が示しているスパイラルな学習が進めにくいのではないかと、各学年における学習の連続性が、計りにくいままではないかと再検討や内容の見直しをすべきではないか。</li> <li>・カリキュラムはできているが、運動にあたってデータベースのデジタル活動及び画像の入ったコンテンツとのリンクができれば、イメージによる感覚がつかみやすいと感じます。</li> <li>・「小中一貫カリキュラム」は作成されたが、なかなか有効に活用されているとはいえない。教員も毎年異動するので、何年かに1回は、町教振研究大会などで分科会に分かれて見直してみてもよいのではないかと。</li> <li>・完成したカリキュラムを効果的に活用していけるかが課題。</li> <li>・一貫カリキュラムは学校の実態に合っていないものもあり、活用しにくい単元もあった。</li> </ul>
10	伯耆町教育振興会事業・就学支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の必要な児童に早期に対処できる体制になっていることは、大変ありがたい。今後も期待している。</li> <li>・支援を要する児童・生徒への取り組みを話し合っていくことは良かったと思う。</li> </ul>
11	小中一貫学力・人間力定着促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力を高める研修も必要となります。今のところ、小学生の中学校体験などが計画されています。中学校の先生方には大変ありがたいです。</li> <li>・中学の道徳、小学校の英語は大丈夫なのか。</li> </ul>
12	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級への入級者が増えてきている現状を鑑みて、個に応じた教材、教具や物品について、さらに支援の枠を広げ予算化していくようになればよいと思う。</li> <li>・十分すぎるほどの整備がなされていると感じている。デジタル教材や教具に関しては、使われていないものも見受けられるのが気になる。(例えば、電子黒板)</li> <li>・物的環境は整えられている。(他市町と比べても)</li> <li>・必要な教材、教具だけでなく教育環境(設備・備品等)も、きちんと整えてくださり感謝している。</li> </ul>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
12	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実している。</li> <li>・施設、設備の有効活用促進を。</li> </ul>
13	外国青年招致事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの先生の配置は、ものすごくありがたいことです。ただ、ALTの先生がすばらしすぎて担任の外国語の授業が少々不安です。</li> <li>・小学生も恩恵を受けていてありがたい。</li> <li>・広報や公民館の活動等でALTの方の人柄に触れることができ、学生だけでなく住民の国際理解につながっていると思います。</li> <li>・小学校とも外国語、英語教育の質の向上が図れた。</li> <li>・ALTの先生が配置されていて、とても楽しく外国語活動が推進できています。</li> </ul>
14	学校統合準備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今はあまり動き出さない方がよいのではないのでしょうか。</li> <li>・統合していくことの危機意識をもつ。地域文化が薄れてきたことは創生につながらない。</li> </ul>
15	運動部活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯体育を視野に入れて行えるとよい。大人の参加もどうでしょうか。</li> <li>・その年に必要な外部指導者は、教員の異動が決まらなるとわからない。必要な人数については県からの支援以上に増やすことを考えてほしい。</li> <li>・溝口中学校での部活動が充実できるようにされたことは、良かったと思う。</li> <li>・外部指導者派遣はよい。溝口の校庭は草畑となっているが、ここで生徒の心に何が育つか、管理職の資質を疑う。</li> </ul>
16	特別非常勤講師配置事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たいへん有意義な取り組みとなっていると感じている。クラブ活動は特に充実しています。授業にも多々参加していただき欠かせない存在になっています。</li> <li>・各分野に精通した指導者は、子どもには当然のことながら、教員にとってもよい模範となり、大変効果的である。</li> <li>・専門的知識を持つ方が校区外在住だと、学習支援ボランティアとして全くの無料で来てもらうことは難しいので継続してほしい。</li> </ul>
17	伯耆町教育振興会事業・人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区での共通のカリキュラムの必要を感じています。(ありますが)その取り組みのPDCAを行う必要があると思います。</li> <li>・人権問題・人権教育については日々研鑽が必要。</li> </ul>
18	青雲寮管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学合宿には、適地となっていて活用できます。</li> <li>・使いにくい設備があることと、使用前の掃除等が大変だと聞きましたが・・・。</li> <li>・気持ちよく使用できるものであれば利用促進につながる。</li> </ul>
19	伯耆町教育振興会事業・学校保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の日常における歩数は激減しています。学力低下の一因ともなっている現状で、学校生活指導だけでは不可能な状況です。早急な対策が必要だと考えます。</li> <li>・小学校で給食試食会が開催されるが参加者が少ない。意義ある会なので改善を。</li> </ul>
20	栄養教諭による食指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な食文化と最新の栄養学を兼ね備えた指導が大切です。米飯と牛乳の併用は、何とかしてかえられないのでしょうか、また摂取カロリー中心な考え方は改めたいですね。</li> <li>・学校における食育は栄養教諭により進められており効果的である。</li> <li>・絵などを使って分かりやすく説明していただけるとよい。</li> </ul>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
21	学校給食施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒のアレルギーに対応して、さらに除去食や代替食等の対応を進めていただきたい。</li> <li>・十分に進められていて感謝しております。</li> <li>・学校給食は安全・安心をもっとうに心がけ、一生懸命やってほしい・・・。</li> </ul>
22	学校給食費補助事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ継続できるとありがたいです。調理に関してはたいへんおいしく申し分ありません。</li> <li>・100円への増額は、保護者から感謝の声も多数聞いている。</li> <li>・負担軽減は理解できるが、食費は本来自己負担のものである。本来どの程度の経費なのか、保護者はきちんと認識する必要がある。</li> </ul>
23	食材供給連絡協議会との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ加工食品に頼らない食材をお願いします。地産地消、季節感のある和食中心とした食事、生産者の方との連携を大切にしていきたいと思っております。</li> <li>・町産食材使用率は大変高い。今の水準を維持してほしい。</li> <li>・伯耆町産使用率に目標値(たとえば50%)を設けてはどうか。農家と連携して新しい食材への取り組みも期待できる。</li> </ul>
24	スクールソーシャルワーカー活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも貴重なことを伝えてもらっています。たいへん頼りになります。</li> <li>・SSWの活用については、今後ますます必要になってくると思う。その際、単なる情報共有に終わらず学校での指導に役立つ専門的な助言をいただけるとありがたい。</li> <li>・多様な諸問題に対応できる専門的立場の方の支援は不可欠。</li> <li>・ケース会議等に参加していただき、助言もいただいたり関係機関との連絡調整を図っていただいたことは大変良かった。</li> <li>・色々なアイデアや情報をいただけるのでとてもよい。</li> </ul>
25	特別支援教育支援員配置事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から特別支援学級児童と通常の児童と一緒に学ぶことによって、お互い思いやりの気持ちが根付くと思います。</li> <li>・たいへん難しい仕事であると思いますが、配置の重要性は、ますます高まると思います。よろしくお願いします。</li> <li>・学習支援員の必要性は今後ますます大きくなると思われる。優秀な人材を確保するためには勤務形態などの処遇を改善していくことを考えてほしい。</li> <li>・学習支援員は必要、更なる増員を望みたいところだが現状維持は堅持していただきたい。</li> <li>・支援員さんのおかげで大変助かっている。今後も継続していただきたい。</li> <li>・今年から支援員さんの勤務時間がかわり、いていただきたい時に、いていただけない状況がある。</li> <li>・子ども達への対応が遅れないようにできたらと思います。</li> <li>・支援を要する児童への支援員の配置は、その児童のみならず、クラスの他の児童にとってもよい効果が出ていると思う。</li> <li>・学習支援員の配置は、とても効果があり助かっています。</li> </ul>
26	教育支援センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活躍を期待しています。</li> <li>・少しずつでも前進できる良い仕組みだと思います。</li> </ul>
27	少人数学級実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施をお願いします。</li> <li>・必ず必要です。児童の潜在能力を引き出すためにも、なくてはならないと考えています。できる限り実施をお願いします。</li> </ul>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
27	少人数学級実施事業(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30人学級については今後もぜひ堅持して行ってほしい。これ以上に有効な支援はないと思う。</li> <li>・子ども達にとっては複式学級を経験することは学習効果だけでなく人間関係上も必要だと思う。</li> <li>・校区外通学のため他校に通う児童が出て、本来なら単式学級なのに複式にならざるを得ない状況にある。</li> <li>・とてもよい施策です。継続を望みます。</li> </ul>
28	就学援助事業(要保護、準要保護)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困り感のある家庭に支援できるようにしていただくことが肝要かと思います。そのためにも十分な情報が必要となります。</li> </ul>
29	就学援助事業(特別支援教育就学奨励金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要だと思います。今後も継続していただきたい。</li> </ul>
30	中学校区の児童生徒を語る会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換はもう少し密にしておく方がよいと思います。</li> <li>・学習面だけでなく、家庭環境等の生活面や、そこから発生する諸問題についても保小中一貫した連携が必要。</li> <li>・会の目的が何なのか、あいまいに感じた。</li> <li>・問題の未然防止のため、担当者と学校全教職員の情報共有を学校教育は、TTで行っていることを忘れないように。</li> </ul>
31	就学支援検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村と連携していることが大切だと思います。(されていると思いますが)保育園が多岐にわたると大変ですが必要です。</li> <li>・当然必要なことであり関係者の共通理解が重要となる。</li> <li>・就学前の情報共有のみならず、支援の在り方について考える場として、とてもよいと思う。</li> </ul>
32	学校評価研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たいへんためになる研修でした。</li> <li>・たいへん重要な研修です。評価に関しては数値目標を重視していく必要があります。また指標のもち方も必要です。</li> </ul>
33	学校図書整備及び図書館司書配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までどおり、学校図書館の運営を適切に行い、児童生徒が利用しやすい図書館にしてほしい。</li> <li>・今後も継続をお願いしたいです。図書については十分届けてくださって助かります。</li> <li>・学校図書館の活用において、学校司書の担う役割は大きい。</li> <li>・図書資料の充実だけでなく、早期の学校図書館システムの導入を求める。</li> <li>・学校図書館整備等、学校教育を考える図書館教育を進めることができた。ただ、研修等の参加が勤務時間外であったり、研修費用がかかったりする課題があった。</li> <li>・司書の配置はとてもありがたいです。もう少し有効活用するためには、長期休業中の雇用も強く希望します。</li> </ul>
34	教職員研修会(全教職員対象)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町教振では大変よい講師に来ていただいております。ありがたいことです。</li> <li>・悉皆研修に意味がある。ぜひ継続を。</li> <li>・研修は必要だと思うが、内容に偏りがあるように感じる。</li> </ul>
35	学校要請訪問、学校随時訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研に参加していただき、ありがたいです。(お忙しいことは重々承知しております)</li> <li>・助言だけでなく、しっかりとした指導をすることが必要。</li> </ul>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
36	伯耆町教育振興会 事業・生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通実践すべきところを重ねて研修していきたい。</li> <li>・夏休みのくらしについて、町内の共通の約束事項があると、子どもへの指導がしやすく保護者の理解も得やすい。</li> </ul>
37	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よい助言をいただいております。また、地域学習の昔の様子やエピソードなどたいへん参考になります。また、協議のまとめもあり記録がきちんとあって何よりです。</li> <li>・CSとなり学校だけで様々なことも決めていないとはいえ、教育委員会の指導により正しい方向に修正してもらえるのはありがたい。</li> <li>・恒例行事とならないように。</li> </ul>
38	小学校施設修繕事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たいへん良くしていただいております、ありがとうございます。</li> <li>・子ども達のためによろしく願いたい。</li> <li>・無水トイレの修繕がなされ良かったと思う。</li> <li>・改修、修繕が必要なものとして、どんなものが残っているのかが、明らかになっていないので、当該年度の取り組みが十分であるかどうか判断しかねる。</li> <li>・安全上、必要なものは職員で早めに修繕、補修を。</li> </ul>
39	中学校施設修繕事業	
40	小学校施設耐震化等事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了しております。空調については本当にありがたいと感じます。学習効果は3割増しといったところでしょうか。伯耆町はすばらしいです。</li> <li>・空調施設は大変ありがたいです。今後は照明・トイレ・体育館の断熱の整備も計画的にお願いします。</li> </ul>
41	学校安全体制整備推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時々朝の登校時に見守りに出ていますが、小学生は挨拶はもちろん、動きもキビキビしていますが、中学生になると挨拶ができる子どもが少なくなっている。もう少し学校で考えてみてはどうですか。</li> <li>・まだ十分理解していない所もありますが、推進くださるとありがたいです。</li> <li>・朝の交通指導等、安全な学校生活が送れるようご尽力いただき感謝している。</li> </ul>
42	伯耆町教育振興会 事業・学校事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの業務をしていただいております。ありがたいことです。</li> <li>・共同実施等で教員の業務量の軽減につながっている。</li> <li>・CSの事務職員参画は必要。学校予算、施設等について具体的な情報を有している。</li> </ul>
43	地区公民館の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かなりの情報をいただいております。また、公民館の活動にも協力しなければと感じています。</li> <li>・お互いのニーズをすりあわせて、連携をすることはよいことだと思う。</li> </ul>
44	生涯学習まちづくり 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活発にされていることを感じます。どの地域も同様だと思いますが、高齢化に伴う活動が多くありますが、参加できるのは高齢者が中心ですね。</li> <li>・CATV等で情報発信、啓発がなされている。</li> <li>・公民館4館それぞれの同好会の募集がまとめてあり、それぞれの活動を知る良いきっかけになっていた。</li> </ul>
45	図書館管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町図書館と各公民館の図書館及び学校図書館の管理システムのオンライン化は難しいか、臨時的任用職員の配置と合わせて、図書館事務の円滑な方法を検討していくようにしてほしい。</li> </ul>
46	図書館振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの取組みを活発にされています。これからも活動を期待しております。</li> </ul>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
46	図書館振興事業 (つづき)	・あたまイキイキ音教(岸公)は、回を重ねるに連れて充実してきています。参加者も増え、ますます生き生きとされてる様に感じます。
		・学校図書館とも連携していただいております、学習センターとして機能している。
		・図書館の取り組みは様々なことにチャレンジされており、素晴らしい成果を出されている。今後も大いに期待している。
		・毎年少しずつでも新たな取組みをされていて、素晴らしいと思います。図書館に行くのが楽しみです。
47	鬼の館運営事業	・素晴らしい機材が手軽に使用できる方法をご検討いただきたい。
		・大変立派な施設なので運用は大変だと思いますが、できるだけ使用しやすいようになるとよいと思います。
		・鬼の館の利用がだんだんとしにくくなっているように思う。伯耆町の大きな文化的財産としてぜひ有効活用して欲しい。
		・鬼伝説に関する資料展示を行ってほしい。小学校の総合学習で学習する単元がある。
48	青年の家管理事業	
49	社会教育主事等の育成	・人材は多々おられるのではないのでしょうか。
50	高齢者教室交流事業	・これからも需要は多くなっていかれますが、小学生との交流もよいのではないかと思います。
		・交流会に参加されている方々が生き生きと楽しんでおられた。
51	生涯学習支援事業 (各種教室・講座の開催)	・文化事業を擦るうえで、なくてはならない学習者がたくさん期待できると思います。
52	社会教育委員	・学校でも活躍していただけると嬉しいです。
		・社会教育委員として政策提言をされたことは、大いに評価されることである。新しい政策提言を期待している。
53	図書館協議会委員	・協議会で出た意見を、各図書館でうまく取り入れて、改善に向けて努力されている、ただ、公民館と併設のためなかなか解決できない面もある。
		・利用しやすい、開・閉時間の設定を。
54	スポーツ推進審議会事業	・新しいスポーツもぜひ取り入れてほしいです。
55	スポーツ推進委員事業	・ラジオ体験を小学生にぜひ教えていただきたいです。
		・現在、夏休み中に小学生が集落でラジオ体操をしている。大変良い取組みです。もう少しラジオ体操の指導を学校で行ってほしい。
56	スマイリースポーツクラブ支援	・よい取組みだと思います。
		・派遣指導者の指導により、児童の運動技能(陸上)が高まった。教員の指導技術も高まった。
		・わが子もスマイリースポーツクラブに加入しています。スマイリーのイベントもあり(新年度にカードをもらい)イベントに参加し楽しんでます。
57	オールジャパン・ジュニアトライアスロンin伯耆補助事業	・長年継続されています。皆生トライアスロンとの連携や全日本トライアスロン連盟とのつながりはあるのでしょうか。
		・規模の拡大はよろしいが、熱中症等も含めた参加者の安全が確保されたうえでということをお願いしたい。
		・大人の大会でもバイク事故が多い。バイクの練習日を6月頃から設定してはどうか。
58	伯耆町駅伝	・日光地区恒例の行事で、昨年コースの変更があったが参加チームも多く良かった。これからも続けてほしいと思います。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
58	伯耆町駅伝 (つづき)	・日光地区の貴重なイベントだと思います。日光地区の方々には大変お世話になっております。
		・伝統ある大会なので今後も継続していただきたい。児童の参加も増やしていきたい。
		・アップダウンが激しく小学生低学年にはきついコース。できればもっとフラットなコースの方がよいと思う。
59	町内体育施設管理 運営事業	・西伯郡の中心としての存在価値は高いと思いますが、無理のないようにお願いします。
		・敷地全体の管理をきちんとする。
60	伯耆町体育協会補 助事業	・県との連携もあると思いますが、競技団体も多いので、無理のないようにしていただきたいです。
		・郡民体育大会水泳の部の役員に出る教員は、ボランティア参加となっているのが課題。陸上のように町として役員をだせないだろうか。
61	体育施設改修事業	・たいへんたくさんの方の施設成っています。複数年での計画により無理のなきようにしてもらいたいです。
62	各種スポーツ団体 補助事業	・だれでも手軽に参加できるスポーツイベントの拡充をのぞみます。
63	地区運動会・その 他イベント開催事 業	・年一度の地区運動会。各集落とも、子ども、若い人が少なく人数集めで大変ですが、毎年楽しみに参加しています。
		・運動会は小学校との連携で同時開催も視野に入れていきたいと思っています。
64	青少年育成伯耆町 民会議運営支援	・通学合宿では若い力も必要だと思いました。
		・種々の取り組みをされ、地域の方々から大いに評価されている。今後も継続してほしい。
		・活動が多様化しすぎているのでは。伯耆町の青少年育成はこれだというものが必要では。
65	成人式	・シンプルかつ厳粛に行ってほしいと思います。日本の伝統的作法で実施されることを期待しております。
		・せっかく終戦記念日に実施されるので、新成人にも、この日の意識等しっかり伝えてほしい。
		・伯耆町の成人式参加者はマナーよく、特に問題なく式を終える。夏場に行い華美すぎず、恩師も招き、ほほえましい。内容も工夫されている。
66	通学合宿事業	・今後の取り組みに期待していますが、負担の大きさも気になります。また、アレルギー等についても以前とは比較にならないほど課題もあり心配です。
		・ねらいが達成できているのか疑問である。
		・秋に行われる通学合宿に参加すると、子どもの成長を強く感じる。1週間、子どもは自分たちで自立した生活を送り、有意義な事業だと思う。スタッフが大変だと思う。
		・進んで参加している子ども達が”参加してよかった”と感じる1週間であってほしいと思う。
67	高校生ユースセミ ナー	・1週間は長いかなと思う。サポートする方も子どもにも負担が大きいのではないかな。
		・小学生にも交流できる機会があるといいなと思いました。なかなか難しいかもしれませんが。
68	読谷村教育交流	・中学生の時に培ったボランティア活動への意識や熱意を途切れさせないように取り組んでほしい。(参加方法の周知など)
		・長年継続されているとは思いますが、もう少し近いところでもよいと思いますが、どうでしょうか。
		・交流事業の引率者については限定的に捉えず、幅広い人材の中から選定していくことが望ましい。
		・参加者が何を学んで帰ってくるのか、しっかり検証して次回へとつなげたい。
		・一部の子だけが交流するのではなく、もっと多くの子が沖縄の子どもや文化に触れる機会があればいいと思う。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
68	読谷村教育交流(つづき)	・やめるのはみやすくても、やっぱり交流は続けるべきだと思います。
69	人権教育推進事業	・ひまわりセミナーは大変魅力的な学習の時間になっています。様々な視点での学習があり、素晴らしいと思います。
		・全町民への啓発が重要。
		・明るいまちづくり懇談会で、同和問題を軽視する意見が繰り返し出ている。会のプログラムを大きく変える必要がある。人権啓発が足踏みしている。 ・無知ほど恐ろしいことはありません。参加される方は役員さんと向上心ある方のみで残念です。皆、生涯学習すべきとは思っています。
70	人権教育・啓発推進協議会補助金	・人権同和問題実践研究交流会の充実に期待しています。
		・実践交流会の参加者は学校関係、表彰者関係などが多くを占め、一般町民の参加者が少なく感じた。(ある参加者は町職員の参加者がほとんどないのはいかがかととも言われていた)
		・明るいまちづくり懇談会の運営について、見直しが必要。進出者がしゃべって住民が聞くような形で進めていても効果は少ない。もっと参加して良かったと思えるような内容に変える必要あり。
71	男女共同参画推進事業	
72	町営住宅修繕事業	
73	文化センター管理運営事業	・活動の紹介をあちこちでしていく必要があるかなと感じました。
74	地域文化活動の支援	・伯耆町民音楽祭について、参加者は相当の時間を費やして準備しています。来場者が少ないように感じます。集客にひとひねりを。
		・町内で芸術文化活動(趣味として又は職業として)を行っておられる方を広報したり、文化展に参加してもらったりしてはどうだろうか。
		・音楽を伯耆町の特長として取り組んでみたらどうか。
75	埋蔵文化財調査事業	・あちこち眠っている遺跡など明らかになってくるものも多く、大切な事業だと感じています。
		・大変重要な取り組みと思っています。現地説明会や調査結果の報告会を定期的実施してください。
76	文化活動団体支援事業	
77	文化財保護事業	
78	文化振興会補助事業	・立地条件、文化財、環境に優れた町にふさわしい事業がたくさんあります。さらに知名度を上げていくことが必要で、その受け皿となる人材にも欠くことのない良さを感じています。
		・伯耆町の歴史文化探訪は故郷の歴史発見で興味もあり楽しい。今後も幅広く進めてほしい。
79	写真美術館管理運営事業	・写真展示の為の施設ですが、もう少し幅広く身近に使用できる策はないのでしょうか。
		・伯耆町のシンボルともいえる観光資源となっているので、今後も活用されたい。
		・もっと地元の美術館を活用する機会があればと思う。(一部の学年だけでなく)
		・学校でも見学に行かせていただいたり、フォトコンテストにも応募したりしているので。
80	写真芸術・文化振興事業	・県内外の優れた写真愛好家も多数おられることや抜群の風景の良さをもっとアピールしてほしいと思います。ワークショップは大変楽しみです。
		・いい施設が近くにあつてとてもいいと思います。
		・フォトコンテストを通して、伯耆町のみならず地域での写真文化を広める活動となっている。



NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
81	地区文化祭・まつり 開催事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方達が積極的に取り組んでいます。</li> <li>・日光ふるさとまつりは、毎年出品作品が多く、来場者も多い。また、米子市義方公民館との交流で賑わっています。</li> <li>・二部地区「たたらまつり」にふさわしい「たたら」に関連した事業となることを期待しています。</li> <li>・各地区でがんばっておられると思う。</li> <li>・郷土の伝統は守るべきだと思います。郷里を愛し、誇れる子ども達を育ててゆくことは大人の努めだと思います。</li> </ul>

○その他教育行政全般についての意見等

教育行政全般に関する ご意見・ご感想	・少人数学級の継続措置等、今後もお願いします。どの事業も伯耆町の子どもを成長させるためのすばらしいものだと思います。継続実施をお願いします。
	・これほど多くの事業が行われていることを認識しました。自分の住んでいる狭い地域のことしか分からなくて申し訳ないです。
	・それぞれの事業をととも熱心に取り組んでおられると思うが、数が多いことが気になる。1人の人が(職員・ボランティア)抱えている数が多いのだろうと思う。その忙しさのために、本来一番時間をかけて育てていくべき所に目が向かないということもあるのではないか。
	・県下でも、最も風光明媚な環境を生かした教育諸活動により人材育成を図りたい。岸本大殿地区は、開発が進みにぎやかになっていますが、せっかくの美観を損なうことのないように気をつけたい。
	・学校に対して、ハード面、ソフト面(他市町と比べても)たくさん配慮いただき、感謝しています。
	・大変幅広く、多くのことに取り組んでいただいている。各項目ごとに成果も出てきているので感謝いたします。
	・施策方針に従って様々な事業が行われているが、日程が過密であったり参加者が少ないものもあるようだ。内容や日程を精査し、町民にとって有意義な事業になっているか検討をする必要を感じた。
	・評価が全て○ということですが、◎や△はないのかなと思ってしまいます。中学校の修学旅行、町内で行き先がちがうというのは、どうだろうと思います。保護者、生徒の希望はどうでしょうか。
	・どの事務事業も評価通り行われていると感じました。詳しくはわからない部分も多い。
	・学習指導要領が新しくなり、新たな教育課題も出てきております。学校教育を取り巻く諸活動をスリムにしていってはどうか。
・たくさん事業があるなかで評価基準が全部おなじであることは少し教えさせられる。	
・会議の期日変更、開催通知の遅れ、不十分な討議時間、主要な委員の欠席等々が目立つ。意思疎通を図り、課題に対して本気で取組む姿勢がほしい。	
・伯耆町は教育に関して、本当に手厚く対応していると感謝しています。コミュニティ・スクールとして地域とともに子どもを育てていく。子どものいない地域と同級生も少なくコミュニケーション不足の子ども達にとって有難い。	

○報告書個別事業に対する教育委員の意見等

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
15	運動部活動推進事業	・溝口中学校のグランド管理がひどい。地域や保護者にすべて任せてもいけない。
65	成人式	・せっかく伯耆町の子どもが成人になる機会なので、心に残る講師を呼んでほしい。
21	学校給食施設管理運営等	・給食費等の滞納額が減っているのはよい。

## ●教育委員会の活動(点検及び自己評価)

施策	番号	項目	概要	主な成果等		評価	
				教育委員自己評価等(課題・改善方針・今後の展開等)			
教育委員会の活動	1	(1)教育委員会の会議の運営状況	教育委員会会議開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月1回開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会開催回数12回。案件数110件(報告34件、議事38件、協議18件、その他20件)を審議した。</li> <li>・毎月1回の定例会では、出席率100%を目標に頑張った。案件については、委員全員が意見を出し合い、慎重審議を行った。</li> <li>・会議規則に基づき、資料等の事前準備ができ、正確に進められた。評価をしたい。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		教育委員会会議の運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慎重な審議と会議の効率化を図る。(定例会の議案または資料を事前に配布する)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の効率化のため、議案等資料を1週間前に送付した。また、新たに委員協議として、最新の教育事情等を題材として意見交換を行い、見識及び共通理解を深めた。</li> <li>・議案資料を1週間前に届けていただき、目を通して定例会ではスムーズに会議が進行できた。最近の教育情報では「子どもの貧困」について意見交換を行ったが書面にはでてこない難しい問題があることも知った。</li> <li>・委員協議は、2回と記憶しているが、もう少し回数を重ねてもよいと思う。同じ題材をより掘り下げて研修してもよいのではないか。</li> <li>・事前に会議資料が配布され、議題等に関しての心構えができ、会議に参加できた。評価したい。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
(2)教育委員会活動の保護者や地域住民への情報提供・情報発信	2	広報活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会の自己点検と評価等をホームページ等で掲載し、住民への情報提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議開催について町防災無線にて周知した。また教育委員会の自己点検及び評価等を、毎年9月議会にて報告するとともに、町ホームページにて掲載し、情報提供を行った。</li> <li>・議会とは違い教育委員会会議については、あまり知られていないので防災無線で周知されることは良いことだと思う。</li> <li>・開催案内の町民周知は大変良かった。自己点検評価を議会や町民にオープンにすることは大切であり評価したい。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
		議事録の開示・公開の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開示請求があれば、議事録の開示を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録の開示等請求があれば開示を行うが、H28は請求なし。</li> <li>・会の傍聴も含め、開示請求がないのは、町民の教育に関する意識の問題なのだろうか。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価
				教育委員自己評価等(課題・改善方針・今後の展開等)	
(3)事務局の管理運営	3	教育委員会の事務局管理運営	・事務局の事業実施状況を把握し、助言を行う。	<p>・事業の実施状況で、必要なものは、その都度教育委員会に報告し、助言等いただいた。(議会提出案件、全国学力学習状況調査結果など)</p> <p>・教育長報告・議会提出案件、教育に関する一般質問に対する回答、全国学力調査結果と対策等々の詳しい報告を受け、助言とまではいなくても意見・方策を話し合った。</p> <p>・適切であった。評価したい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
(4)町長部局との連携	4	教育委員会と町長部局との連携	・町長との懇談会を実施する。 ・総合教育会議を開催し、町長部局との連携等、協議・検討する。	<p>・H28は、総合教育会議を1回開催し、次年度の予算要求、教育事情等に関して協議・検討を行った。</p> <p>・町長さんと話をする機会がめったにないので伯耆町教育の在り方はもとより、伯耆町の将来を見据えた話をするのもいいのではないのでしょうか。</p> <p>・町長部局との懇談は、共通理解のもとで教育行政を行うためには欠かせない。評価をしたい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
(5)教育委員の自己研鑽	5	学校訪問	・小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。学校運営の取組を聴取する。また学校行事等へ参加する。	<p>・学校訪問を行い、小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。また学校行事等へ参加した。(運動会、体育祭、学習発表会、文化祭、卒・入学式など)</p> <p>・教職員との方々との懇談に温度差を感じる。話し合うテーマの進行を誰がするのか明確ではないためか、学校によっては必要性を感じておられないのではないかと思った。せつかく時間を設けるのであれば、もう少し参加する姿勢が欲しかった。</p> <p>・学校訪問では、どの学校でも授業に前向きな児童生徒の姿を見ることができた。学校運営についても、保小中連携の大切さを重視しておられると思う。岸本中学校の先生方との懇談会(学校評価)について時間いっぱい使って真剣に話し合いをされる姿が見られてよかった。学校行事は重なることが多いのですべてを見ることができないのが残念。卒入学式の告辞は緊張と冷や汗の連続。</p> <p>・学校訪問は、学校教育の理解、実態把握には重要であり、評価したい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	6	所管施設の訪問	・体育施設・社会教育施設等を訪問し、要望等現場の声を聞く。	<p>・H28は、日光公民館、文化センターで定例会を開催し、あわせて当該施設の事業進捗状況等を報告した。</p> <p>・改築された文化センターでの開催は、防火設備の充実・バリアフリー、部屋も明るくなっておりより一層の活躍の場になったと思う。</p> <p>・社会教育や社会体育施設等の施設や実態を知ることができて、有意義であった。評価したい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上